

平成 29 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

特別損失の計上、及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社が、平成 30 年 3 月期第 1 四半期において特別損失を計上すること、併せて平成 29 年 5 月 15 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)、及び平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想、並びに個別業績予想を修正することをお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 個別決算(子会社株式評価損)

平成 27 年 11 月に当社の連結子会社となりましたオートモービル関連事業を行う株式会社 J P マテリアル(以下、「J P マテリアル」といいます。)につきまして、AMSOIL の日本における独占販売を軸に、同ブランドの浸透による自社ブランドとの相乗効果を生みながら販売拡大を図っているものの、現状、両ブランドの認知度が同社の営業利益に寄与するまでには至っておらず、直近の平成 30 年 3 月期第 1 四半期においても依然営業損失を計上する見込みとなっています。当該第 1 四半期の業績につきましては、通期業績予想のベースとしている計画に対して若干下回る程度であるものの、依然として債務超過の状態が解消されていないこと、及びブランド浸透に向けた一定以上の広告宣伝費の支出が予測されることを踏まえて、当面の間、業績の回復が不明瞭であることから、改めて子会社株式の評価を行いました結果、平成 30 年 3 月期第 1 四半期の個別決算において、子会社株式評価損として 373 百万円を特別損失に計上することといたしました。

なお、個別決算で計上した当該特別損失は、連結決算では消去され、下記「(2) 連結決算(のれんの減損損失)」における特別損失が連結業績への影響額となります。

(2) 連結決算(のれんの減損損失)

個別決算において、上記の評価損を計上したことに伴い、平成 30 年 3 月期第 1 四半期の連結決算において、J P マテリアルに係るのれんの未償却残高の全額について減損処理を行い、減損損失として 370 百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 業績予想の修正

平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計) 連結業績予想の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 425	百万円 △150	百万円 △165	百万円 △166	円 銭 △1.82
今回修正予想(B)	425	△150	△165	△537	△5.86
増減額(B-A)	—	—	—	△370	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績(平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	118	△194	△188	△189	△2.35

平成30年3月期通期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,868	百万円 △41	百万円 △72	百万円 △74	円 銭 △0.82
今回修正予想(B)	3,868	△41	△72	△442	△4.84
増減額(B-A)	—	—	—	△370	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	604	△398	△402	△405	△4.71

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想の修正（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 0	百万円 △103	百万円 △103	円 銭 △1.13
今回修正予想(B)	0	△103	△476	△5.21
増減額(B-A)	—	—	△373	—
増減率(%)	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	0	△119	△120	△1.49

平成30年3月期通期個別業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 0	百万円 △206	百万円 △207	円 銭 △2.26
今回修正予想(B)	0	△206	△579	△6.33
増減額(B-A)	—	—	△373	—
増減率(%)	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	0	△228	△230	△2.67

3. 業績予想修正の理由

上述のJPマテリアルに係る特別損失の計上により、連結業績予想における親会社に帰属する四半期・当期純利益、及び個別業績予想における四半期・当期純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

※本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料発表日現在の状況から合理的であると判断した一定の前提のもと作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上